

新潟市及び周辺市町村の対応

—両川地区・坂井輪地区・黒埼村の文書より—

■新潟市両川地区の新潟地震関連公文書 (昭和 62 年度収集)

両川地区（現新潟市江南区）は、全半壊世帯が全世帯数の約 0.5%と市内でも被害が少なく、農地への被害も比較的少なく済みました。両川支所で作成された新潟地震に関する文書のうち「新潟地震関係綴」には、地震発生から約 3 か月間の災害対応に関する文書が綴られています。この文書からは、被害が大きい地域に対し、野菜や握飯といった炊き出しの供出を盛んに実施していることがうかがえます。特に、炊き出しに関する文書としては「新潟地震炊き出しに関する綴」が作成されました。

■新潟市坂井輪地区の新潟地震関連公文書 (昭和 62 年度収集)

坂井輪地区（現新潟市西区）では、住宅倒壊の被害があり、全半壊世帯が全世帯数の約 9 %にのぼりました。坂井輪支所で作成された新潟地震に関する文書のうち「六・一六新潟地震関係綴」には、地震発生から約 3 か月間の災害対応に関する文書が綴られています。この文書からは、罹災申告書及び罹災証明書の発行や見舞金の給付といった業務に追われていた状況がうかがえます。この業務の過程で「六・一六罹災証明交付簿」等が作成されました。

■黒埼村の新潟地震関連公文書（平成 26 年度移管）

黒埼村（現新潟市西区）では、全半壊世帯が全世帯数の約 16%にのぼりました。写真からは、村道の陥没などの被害状況がみられます。黒埼村で作成され、西区役所黒埼出張所から移管された新潟地震に関する文書のうち「新潟地震に関する綴」には、地震発生から約 1 か月間の災害対応に関する文書が綴られています。この文書からは、新潟県と密に連絡を取りながら災害対応を実施していることがうかがえます。また「昭和 39 年 6 月 16 日 新潟地震災害見舞帳」をみると、新潟県内外から多くの見舞いが寄せられていたことがわかります。